

## JAPAN CUP 2024 素晴らしい熱戦で幕を閉じる

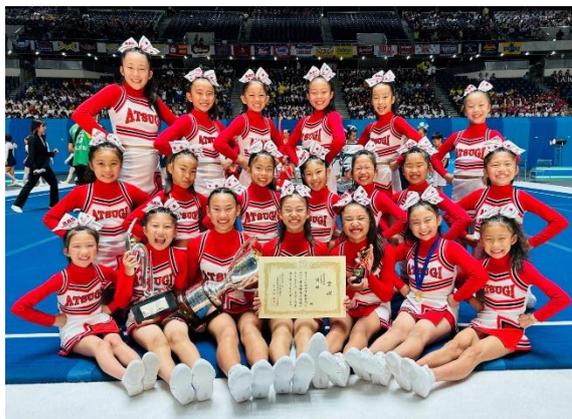
チアリーディング最高峰の国内大会・JAPAN CUP 2024 チアリーディング日本選手権大会が、8月29日（木）～9月1日（日）の4日間に渡って国立代々木競技場第一体育館にて開催された。

563チーム・7,012名が参加した全国8地区の予選を突破した選手たちが集い、各部門の日本一を決定するこの大会。日本列島を台風10号が覆う中、チームが代々木に無事に辿り着けるかどうかや選手のコンディションが心配されたが、そんな懸念を吹き飛ばすような素晴らしい演技が続いた。

栄えある文部科学大臣杯を手にしたのは、小学校部門・あつぎチアリーディングチーム（神奈川県）、中学校部門・伊豆の国チアリーディングチーム（静岡県）、高等学校部門・箕面自由学園高（大阪府）、大学部門・帝京大（東京都）、社会人部門・クラブチームツイスターズ・A（東京都）であった。

小学校低学年・高学年部門の総合優勝のあつぎは小学生とは思えないほどの体の芯が締まったスタントを絶え間なく披露、それらが美しく同調していたことが高い評価につながった。

中学・伊豆の国は、ジュニアチームで重視されるアームモーション、ダンスを正確に力強く同調させ、安定したスタントの軸などから随所にその高い基礎力がうかがえる素晴らしい演技で初の日本一に輝いた。昨年よりもさらに高難度の技に磨きをかけた堺チアリーディングクラブ（大阪府）が準優勝、前年度覇者の箕面自由学園中（大阪府）が準決勝でのミス挽回して3位に食い込んだ。決勝に残ったチームが昨年よりも数段レベルアップをし、各地域のジュニアチームの躍進がより感じられた部門となった。



小学校部門 優勝  
あつぎチアリーディングチーム

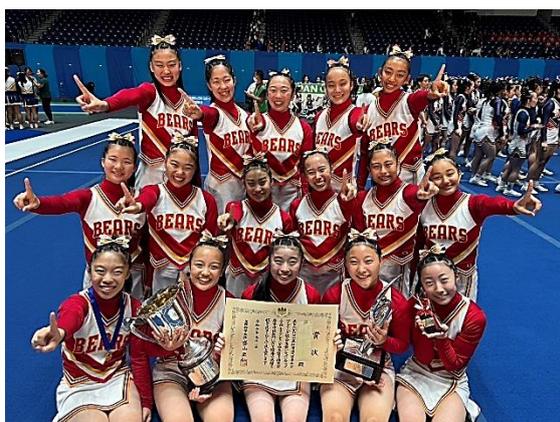


中学校部門 優勝  
伊豆の国チアリーディングチーム

高校部門は、準決勝で素晴らしい連続性・スピード感に 3 回ツイスト（横回転）のピラミッド 3 本など高難度の技を展開した梅花高（大阪府）を箕面自由学園高が 0.5 点差で追いかける肉薄した戦いとなった。決勝では、大歓声を背にしながら箕面自由学園高が、準決勝よりさらに質の高い技をコールや音楽に合わせて次々と決め、逆転で優勝を掴んだ。日本選手権・初の準優勝となった如水館高（広島県）はスタントの回転の速さや安定感が抜きん出ており、準決勝 1 位通過の梅花高は時間規則違反などが響いて 3 位となったが、ともに多彩な技で会場を盛り上げた。

大学部門の最後に登場した帝京大は、突き抜けた高さのバスケット トスや息もつかせぬスピードで高難度の 3 層ピラミッドを決めていき、会場が揺れるような歓声が上がった。日本体育大（東京都）は力強く揃ったダンスや演技全体の完成度も高く準優勝に、梅花女子大（大阪府）は宙返りと捻りをミックスした 3 層ピラミッド 3 本などに果敢に挑んだが、ミスが響き 3 位となった。

社会人部門は決勝のみの一発勝負。男女混成チームが多く、ダイナミックで高さのある演技が続いたが、クリーンに決めることが難しいチームも多かった。そのなかでツイスターズ・A が落下はあったものの、躍動感あふれるダンスや各選手の技術の高さを感じさせる演技で昨年度に続いて優勝を重ねた。



高等学校部門 優勝  
箕面自由学園高等学校



大学部門 優勝  
帝京大学



社会人部門 優勝  
クラブチームツイスターズ・A

上記の Division 1 に先立って行われた Division 2 は、各チームの 2・3 チーム目が出場する部門で、高校 7 チーム大学 6 チームでの混戦となったが、こちらは梅花女子大（大阪府）の 2 連覇となった。各チーム、バトンを次に繋ぐべく懸命に演技し、Division 1 と比較しても遜色のない厚い選手層のため、ハイレベルで見ごたえのある演技が多かった。

スタントの専門技術と音楽のみで構成されるスモールグループ演技競技では箕面自由学園高が、モーション・ダンス・ジャンプ・タンブリングの「平場」の技術を競うチアリーディングスピリッツ演技競技は帝京大・A が部門を制した。

自由演技競技マスターズ部門ではチアリーディングチーム PUPPYS（富山県）が優勝、また今年度より新設されたユース部門、小学校高学年は SLS 愛知チアリーディングクラブ（愛知県）が、中学校は箕面チアリーディングクラブ SHINIES（大阪府）が初代チャンピオンとなった。自分たちのチームに適切な難度の部門を選択できることが演技の完成度を高め、それが選手の成長や達成感に繋がるといえよう。

チアダンス演技競技の美しい演技が大会を華やかにし、また、エキシビション出場の元気で楽しい演技が観客を笑顔にし、どちらにも会場から惜しめない拍手が送られた。

悪天候にも関わらず、多くの観客が来場し精一杯の声援を送ってくれたことに感謝してやまない。また、チーム同士の声援がお互いのパワーをさらに引き出し、笑顔あふれる元気な演技がさらに美しく素晴らしい演技を呼び込み、例年にも増して熱い大会となった。

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。  
Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.